



2020-2021年度

RI会長

ホルガー・クナーク

RIテーマ

Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2830地区

八戸北ロータリークラブ 会報

ガバナー ● 源新 和彦 会長 ● 平野 薫 幹事 ● 小林 弘文 SAA ● 中山 恵美子

〒031-0081 青森県八戸市柏崎一丁目6-6 八戸プラザホテル内

TEL.0178(44)3121 FAX.0178(44)3128

<https://www.8kitarc.com/>

例会日：毎週火曜日 12:30 開会

12月 疾病予防と治療月間

vol.20

第2423回例会 2020.12.8

司会：神山智子副SAA

RIテーマ

点鐘

- ・ロータリーソング
- ・クラブソング
- ・四つのテスト

誕生日祝い



千葉 哲也会員

会長要件



小金平育男副会長

昨日のニュースで今年の新語大賞をやっていました。大賞は「ぴえん」という言葉でした。ネットで流行っている言葉で若い人がどんどん新しい言葉を作ってくれるものだから意味が分からなくて戸惑ってしまいました。ちょっとした悲しい気持ちとか嬉しい気持ちを表現するときに、言葉の最後にちょっと付け加える感じで使われているそうです。そう言われてもまだピンとこないという、それだけ年を取ったんだなと年齢を感じました。ついていけなくなってきたということの方がわたしは悲しいな、ぴえん。という感じです。

幹事報告



小林弘文幹事

- ◎1月19日予定の南グループ合同新年会は中止。
- ◎ガバナー公式訪問の写真代500円を事務局へ。
- ◎国際平和資金（年間目標、1人2100円）の募金のお願い。
- ◎1月5日、櫛引八幡宮での例会は任意休会。
- ◎台湾国際大会の開会式の日程、大会会場等はWebサイトをご確認ください。
- 登録後のキャンセルは4月30日まで。

親睦委員会

類家 順会員

ニコニコBOX

八戸北RC

千葉哲也会員：誕生日ありがとうございます。

米山記念奨学金

奥寺良之会員：

澤口忠彦会員：

千葉清彦会員：

久保隆明会員：

ポリオ・プラス

神山智子会員：

出席報告

本日の出席率	64.1%
前々回の修正出席率	93.02%

お知らせ

吉田悦子会員

クリスマス例会は普通の夜間例会の形で行います。いつもは18:00~でしたが、12月22日、18:30~プラザホテルで行います。前回の夜間例会の残りの酒もあります。皆さん手ぶらでいらしてください。

例会を欠席される場合は2日前までにご連絡いただけますようにお願いします。

米山奨学生面接選考試験

平野榮子会員



12月5日(土)、アスパムで次年度米山奨学生の面接に行ってきました。源新ガバナーも面接官として参加されていて、私は応募者の補佐というか緊張をほぐす役目でした。今年はすごく応募者が少なく10名の米山奨学生に対して13名だけでした。非常に倍率は低かったんですけどレベルの高い方の応募が多かったと思います。弘前大学、青森中央学院大学、青森大学の学生で、いつも言うんですけど皆さん本当に努力しているんですね。面接に対して、どんなことを聞かれるか、今まではどうだったか、自分の日本語は分かるか、と皆さんすごい緊張感で、それを聞いていて楽しいんですね。ぜひ機会がありましたら皆さんも経験していただければと思います。

50周年記念誌アンケート 源新育子会員



皆さんのテーブルにアンケート用紙があると思います。これは記念誌の内容や方向性のたたき台に使わせていただきたいと思います。皆さんの率直な意見やアイデアを参考にさせていただきたいと思います。

一つ提案ですけど、八戸北ロータリークラブの衛生クラブを作れないものかなと考えております。ガバナー公式訪問でクラブの種類や作り方を聞いて関心を持ったところもあるようですが、今のところ形になっておりません。ガバナーも出ていることですし、例えば会社のパートさんなど女性をターゲットにして、例会にはうちのクラブから誰かが行きロータリーというものを教え育てながら、ロータリアンとしての意識を伝えていくためにも、衛生クラブを作りたいと思います。

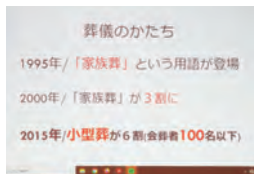
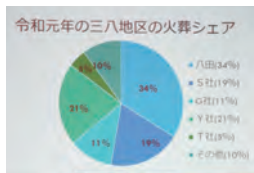
卓話「三八地区の葬儀事情」 類家 順会員



今日は三八地区の葬儀事情をテーマに少しお話をさせていただきます。お葬式事情または葬儀費用を考える皆さまにということで、こちらが昨年の三八地区の火葬シェアです。八田グループ34%ということで、年間火葬件数は3000強ぐらいで当社は1000件を超えるお手伝いをさせていただいております。これからも地区の一番店として皆様へお手伝いをさせていただければと考えております。

火葬件数は増える傾向にあります。件数は増えるんですが参列する人数は、1990年には平均280名の参列者がお出でになりました。2005年には130名、2015年には100名、今年はおそらく80名台まで減るだろうと予測されています。この背景には1995年に登場した家族葬が5年間で3割に増え、2015年には6割を占めるようになったことがあります。家族葬という言葉が出てから10年で会葬者が半分に減り、小規模葬が増えたことで会葬者の人数の減少に拍車がかかってきたというのがこの30年間の流れです。原因としては、やはり高齢化社会で一人暮らしが増えたことと核家族の増加、近所付き合いの希薄化が考えられるということになっております。

三八地区のお葬式の流れですけど、ご存じとは思いますが臨終→納棺→火葬→通夜というのがこの地区の一般的な流れです。ただ地域によって違い、東京とか芸能人の葬儀を見ているとお葬式が終わって最後に火葬場に向かうという火葬を最後にするのをご覧になるかと思いますが。東北北部、青森県全般は火葬が先に行われます。火葬が先というのは諸説ありますが、津軽藩初代当主津軽為信公が京に滞在中にお亡くなりになり、先に向こうで火葬を済ませてから戻って来てお葬式をあげた時の慣習が残っているのではないかと説明があります。他にも青森県は三方が海で囲まれ港町



が多く船乗りが多い所でしたので、お父さんとか家族が船に乗ると1,2か月、半年かかって戻ってくる、その間に不幸ごとがあったときにどうやってお葬式まで遺体を保つのか。昔ですからドライアイスも冷房機器もありませんし遺体の状態を保てないところから、先に火葬をして待つという昔の慣習が残ったのではないかと説明もあります。いずれにしても地域によって順番が違うのは、その地域に合ったやり方を昔の人が考えて、そのまま風習として残っているのではないかと説明します。

葬儀費用についてですけど、葬儀代として霊柩車・生花・供物など、飲食費としてお膳・引き出物・会葬礼品など、寺院代としてお布施など、大きく分ければこの三つになります。当社の平均費用は葬儀代79万円、飲食費49万円、寺院代はお寺によって違いますので?としています。葬儀費用が140万円として会葬者が100名、会食が20名でシミュレーションしてみます。香典収入、一般の会葬者3千円×100名=30万円、身内の会食3万円×20名=60万円です。自己負担50万円になります。だいたいこのような金額になってきます。

ちなみに香典なんですけど薄墨で書きますよね。なぜ薄墨なのか。悲しみのあまり涙で墨が薄まったという意味を表しているそうです。お札の入れ方は肖像を裏に向け下にして入れます。悲しむあまり顔を伏せるという意味が込められているそうです。新札はあらかじめ用意していたと取られるので新札は使いません。

先ほどのシミュレーションからいくと、家族葬の豆知識として、家族葬は一般的に会葬者を呼ばずご家族や本当に近い方のみとする葬儀です。準備や会葬に追われることなく故人様との最後の時間をゆっくりと過ごすことができます。落とし穴が一つ。一見、料理や返礼品で見ると安く感じます。返礼品は会葬者を呼ばないので頼む必要がないですね。料理もそれほど用意する必要はないですね。親戚もそれほど呼ばず家族だけです。その分の費用はかかりません。ですが葬儀用品費用は普通に掛かります。家族葬だからといって櫃はいらなくていい、写真はいらなくていいわけにはいかないですね。会葬いただく方がいない分香典収入が大幅に減ることになります。葬儀代は変わらず香典収入はほぼ0になるので自己負担額は上がるケースが多いです。総請求額は減るかもしれませんが自己負担額は上がる可能性が高いということを皆さんにもご理解いただきたいです。

まとめとして、家族葬=低価格ではないということをご理解いただいて、家族葬というものはあくまでも手段で、故人様をゆっくりと近親者で送る一つの方法として認識しましょうということになります。

最後にちょっと宣伝になりますけど、八田の互助会は一般葬でも家族葬でも、もしもの時に大きな役割を果たします。皆様のために本互助会はあり続けます。

皆さんご清聴ありがとうございました。

点鐘

(誤字脱字がございましたらご容赦ください)